



せんだんの木



令和8年1月28日 校長 各務 至

心の中の自分にウソはつけない

1月21日（水）、4～6年生を対象に、藤田敬一氏によるハートフル人権ライブが行われました。

今日は「人権」のことを学習するけれど、言葉自体や漢字の意味から勉強を始めようとしてはいけない。大切なことは、**心の中の自分と向き合うこと、身近なところから広く深く考えること、生き合うこと**とお話しされました。



心の中にある自分と向き合う

小学校時代にいじめに関わる経験があり、大人になってから同窓会で謝罪をしたことがある。今も忘れる事がない。みなさんはどうか。人を悲しい思いをさせたり、いじめたり、のけものにしたりはあるか。心の中の自分にウソはつけない。

身近なところから広く深く考える

例えば、駅の階段の手すりについている点字には、「この先に3番線ホームがあります。」などと案内が書かれている。しかし、右側通行であれば右手で手すりを掴むので、左利きの人は気づくことができない。日本では左利きの人は1割くらいしかいないが、少数の人にも気を配ることが大切だ。

生き合うことを大切にする

心の中にあるちょっとしたいいことを集める。そして、隣の人の命、動物の命も大切にする。一人で生きているのではなく、いろんな人と助け合って支え合って生きていることを知る。

この日は、学校運営協議会深尾会長様、支援推進委員会宮浦委員長様をお招きして、子供の学ぶ様子をご参観いただきました。子供たちは姿勢よく素敵なお姿でした。

○児童の感想より

～話を聞いて印象に残ったことは「もう一人の自分と向き合う」ということや、「自分の考えを大切にする」ということです。今まで、不安なことを一人で抱え込んで、焦ったりパニックになったりするけど、もう一人の自分と向き合って、不安なことを少しでも減らしたいと思いました。また、人の気持ちなどをしっかりと考えて発言や行動をしたいと思いました。～（6年）

いじめについて知ることができて、自分の心がドキッときました。先生の話は私のせなかをおしてくれた感じがしました。命をおたがい大切にして、助け合いや学び合いなどを心に残していくます。藤田先生ありがとうございました。～（4年）

今日、藤田先生のおしゃてくれたことで、これからは、ぜったいにいじめをしないと思えました。また、体が不自由な方がいたらたすけます。ありがとうございました！（4年）

○学校評価より　※12月末調査

「他者を大切にしている」という質問に対して、児童の回答は次のとおりでした。

よくあてはまる	304	あてはまる	100	あまりあてはまらない	8	あてはまらない	1
---------	-----	-------	-----	------------	---	---------	---

「いじめは絶対に許さないと考えている」という質問に対して、児童の回答は次のとおりでした。

よくあてはまる	345	あてはまる	61	あまりあてはまらない	5	あてはまらない	3
---------	-----	-------	----	------------	---	---------	---

いずれも、98%くらいの子が「よくあてはまる・あてはまる」としていました。2%くらいの子が「あまりあてはまらない・あてはまらない」としていました。これらは特に、「あまりあてはまらない・あてはまらない」が0になってほしい項目でした。

我々は「ボタンを押し間違えたのだろうか。」「文章を読み違えたのだろうか。」と考えたくらい、いつも大切にしていることではあります。講演を聞いてすぐにできるようになるものでもないですが、このように話を聞いたり経験したりする中で、将来にわたって剥がれ落ちることのない心情や態度を、じわじわと身に付けてほしいと願っています。